平成31年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書(変更実施計画書)

市 町 名	小山町			
事 業 名	まちぐるみ結婚支援事業	所要見込額 ※(注)1	3,174,000 円	
実 施 期 間	交付決定日 ~ 平成32年3月31日			
地域の実情と課題 (これまでの市町における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述) ※(注)2	<p>小山町においては、平成27年度に町としての少子化対策(人口自然増)及び定住移住促進策(人口社会増)に係る統一的計画である「小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その基本目標の一つに「結婚・出産・子育て環境の整備により若者世代の希望に応える」を掲げ、平成31年には合計特殊出生率を1.72へ引き上げるよう計画的な取組を進めているところである。</p> <p>これまでの小山町の結婚支援事業では、男女の出逢いの場の創出事業や、自己啓発セミナーを行っており、平成30年12月までの成婚数は6組と様々な取組みの成果が表れている。しかし、男性の参加希望者が多い一方、女性参加希望者が少ないことでイベント参加人数を調整する必要があるため、結果的に出逢いの場に繋がっていない。また、相談や仲介支援においても、おやま出逢い大社の登録会員のうち男性会員よりも圧倒的に女性会員が少なく、会員が望む支援活動ができていない状況にある。平成30年度は地域ぐるみで結婚を応援する環境づくりを行うため、初めて「おやま婚シェルジュ養成講座」を実施し、新たな地域の担い手が誕生したが「結婚支援の活動は難しい」や「個人のプライベートに踏み込めない」等、地域の中で結婚支援に積極的でない意見も多く寄せられたことから、まずは小山町に携わる人々が現在の婚活事情を知ることによって結婚支援活動を身近に感じ、地域ぐるみで結婚や出産、子育てについて考える場を創出する必要がある。また、結婚に対して男女それぞれがお互いに求める要因を理解することで、結婚に対する意</p>			
市町における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3	<p>小山町まち・ひと・しごと・創生総合戦略においては、「結婚・出産・子育て環境の整備により若者世代の希望に応える」を基本目標に据えて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出逢いの場の創出 ・妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援 ・たくましい子どもの育成 <p>等の各種施策を推進しているところである。本事業は「出逢いの場の創出」に位置づけられており、結婚を希望する若者に対し出逢いの場の創出や、安心して家庭を築き、男女が共に子育てをする意識の醸成へと続く取組みとなっている。</p> <p>また、第4次小山町総合計画後期基本計画においては、魅力ある暮らし環境を実現することで、町外からの転入を促進し、町外への転出を食い止め人口増加となることを目的としており、結婚支援事業の充実として、支援を希望する若者に出逢いの場の提供や様々な結婚支援を行うことで少子高齢化や人口減少に歯止めをかけ、町への定住・移住を促進する。</p> <p>本交付金事業については、町の計画との整合性を図るとともに、様々な施策との連続性を持たせることで重層的な取組みとなっている。</p>			
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	<p>小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略における数値目標は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率 1.72(平成31年度) ・子育て支援に対する満足度 50%(平成31年度) 			
参考指標 ※(注)5	<p>※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚姻数:88件 婚姻率:4.6(平成29年。但し、婚姻率については未公表のため参考値とする。) ・出生数:114人 出生率:6.0(平成29年。但し、出生率については未公表のため参考値とする。) ・合計特殊出生率 1.50(平成20~24年度) ・子育て支援に関する満足度 48%(平成30年度) 			
事業内容	1 優良事例の横展開支援事業	所要見込額	2,574,000 円	
	(1) 結婚に対する取組	所要見込額	2,574,000 円	
	個別事業名	おやま出逢い応援事業(個票①)	所要見込額	2,574,000 円
	個別事業名		所要見込額	0 円
	(2) 結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組	所要見込額	0 円	
	個別事業名		所要見込額	円

個別事業名

所要
見込額

円